

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月13日(月)

事務事業		指揮活動支援事務		担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	4527
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	・消防法				
	小項目	2	消防・救急体制の充実						
	主要プロジェクト								
事業概要		平成17年6月に消防力の基準が改正、全国の消防署に指揮隊を配備するよう指針が示された。当市消防本部では、平成20年度に警防課へ指揮隊1隊を配置し、平成24年度からは、深谷消防署及び花園消防署の両署に指揮隊を配備し、災害活動時における安全管理および二次災害発生防止を図るとともに、円滑、効果的な部隊運用を推進する。							
目的 ※何のために		災害活動時の安全管理の確保と、円滑かつ効果的な活動を推進し、市民の安全、安心を守る。							
対象 ※誰・何を対象に		市民の生命、身体及び財産。							
手段 ※どのように		訓練及び研修会を実施する。							
成果 ※何を求めるか		災害活動時の職員受傷事故ゼロを目指す。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・指揮隊災害出場統計の作成				・			
		・指揮支援活動業務				・			
		・訓練及び災害活動時の安全管理				・			
		・災害活動技術の調査研究				・			
		・指揮資器材の維持管理業務				・			
		・各種訓練の立案、調整、実施に関する業務				・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	人件費相当試算※	777,900	778,200	786,100	813,600	776,192	813,135
総事業費試算		777,900	778,200	786,100	813,600	776,192	813,135

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	指揮隊出場件数（暦年）		目標値	件						
			実績値		104	117	93	95	91	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			指揮隊が出場する 2 隊以上の活動事案での出場件数/出場件数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	訓練・研修回数		目標値	回	12	12	12	12	12	12
			実績値		12	12	12	12	12	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年間訓練計画に基づく目標値とする。（実施回数を詳細に計上。） / 実施回数						
	実績値の算出式									
活動指標 3	資器材点検実施率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			1 0 0 %の資器材点検を目標とする。 / 実施日／3 6 5 日×1 0 0						
	実績値の算出式									
成果指標 1	資器材常時使用可能率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			車載されている全資器材の常時使用可能率。 / 使用可能数／全資器材×1 0 0						
	実績値の算出式									
成果指標 2	二次災害事故防止率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	98.3	100	100	98.9	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			指揮隊が出場する災害活動での職員の二次災害事故防止率。 / 無受傷事故件数／全件数×1 0 0						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	年間訓練計画に基づき、計画通り訓練を実施することができた。また、車両及び車載資器材を通年、点検することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	車載されている全資器材の通年使用可能率を100%達成することができた。しかし、指揮隊が出場した災害において、職員の受傷事故が1件発生してしまい、目標値に達しなかった。
			評価者 指揮係長 加藤学・西村茂幸

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	現在ICT活用によるデータ共有で、知識や情報交換等を行い、それを災害活動に活かしているが、今後はweb会議システムの導入により、署を越えた多人数かつ同時的な研修や災害検討会が当直中に可能となることで、より細かな共通認識や知識向上が図られ、事故防止や更なる効率的な災害活動に繋がっていき期待している。
			評価者 指揮係長 加藤学・西村茂幸

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	各種災害現場において、更なる安全確保と円滑な指揮運用を行うため、出場計画の見直しや署警防計画を有効に活用して出場各隊が共通認識を持ち活動することが不可欠である。 また、新型コロナウイルス感染症の不安が大きい中、現場活動時に職員が感染者、感染疑い者と接することが懸念されることから、災害現場においても万全な感染対策を行うことが必要である。
達成状況及び その効果	出場計画については、消防車両の更新があったため見直し計画を作成周知した。また、署警防計画については、指揮車に紙媒体で掲載していたが、指揮隊所有のタブレットに電子媒体として処理することにより、情報検索が素早くできた。 また、出場に伴う接触感染者はなく、今後も感染対策をしっかりと行い活動する。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	指揮活動支援事務	担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	4527
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		災害活動時の安全管理、円滑かつ効果的な活動を目指すためには、年間訓練計画に基づき、訓練や職場内研修の実施する。また、災害現場での早期災害の実態把握をすることで、各部隊に適切な活動指示を出すことにより、安全・確実・迅速な現場活動を実施する。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	花園消防署長兼花園消防課長 小暮 誠				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	指揮本部活動型では小隊長に課された任務が多く、災害実態の把握、活動指示及び安全管理が遅れがちである。そのため、現場先行型指揮要領を確立することで、早期に災害実態を把握し、的確な簡先配備等の指示を行い、更なる放水時間の短縮や延焼拡大を防ぎ被害の軽減を図る。 また、災害現場での混乱を生じさせないよう活動要領を全署へ周知させ、連携訓練を実施していく。さらに、ふかやプレミアムアウトレットなどでの災害を最小限に止めるため、活動に必要な警防計画を作成し、計画に基づいた対応訓練を実施する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	現場先行型指揮要領を定着させ、さらなる円滑な、安全・確実・迅速な現場活動を目指す。

8. 評価指標グラフ

